



三菱自動車・燃費不正問題

問題の原因・背景 (特別調査委員会「燃費不正問題に関する調査報告書」)

- 非常なタイトなスケジュールのなかで
目標達成を迫られる
 - 「できない」と言えない構造的問題
 - 法律違反であることの意識が希薄
 - 「惰行法でも、高速惰行法でも、最終的に得られる走行抵抗は“理論上は”異なるから、高速惰行法を用いることはそれほど大きな問題ではない
 - 「このやり方はそもそも不正行為にはあたらない」「不正行為かもしれないが許される範囲のやり方である」
- ⇒ **不正行為を正当化**
cf. 「逸脱の常態化」(Vaughan)

不正行為を
誘因

1



研究倫理教育の実施方法

- **研究倫理の授業 (独立授業)**
 - 講義、オンライン (大人数)
 - (授業内) ディスカッション、ワークショップ
 - (単発) セミナー、ワークショップ

※NIHは、4年毎に8時間以上の研修、その際、オンラインだけでなく対面によるディスカッションを含むことを要求
- **通常の授業に組み込む**
 - 専門科目のなかの数コマを研究倫理に
 - 専門科目の事例・課題に組み込む (“micro-insertion”)
- **研究室等での直接の指導・サポート**

2

5 WAYS SUPERVISORS CAN PROMOTE RESEARCH INTEGRITY

Are you a principal investigator, research coordinator, academic advisor, or mentor? Roles such as these place you in a unique position to cultivate exceptional research practices among the next generation of researchers.

- 1 BE AVAILABLE & APPROACHABLE**
Your team wants to learn from YOU!
REVIEW RAW DATA
2 You are responsible for the integrity of your team's data.
- 3 COMMUNICATE EXPECTATIONS**
Prevent misunderstandings by making sure everyone is on the same page.
- 4 PROVIDE TRAINING and GUIDANCE**
Avoid making assumptions about anyone's skills or knowledge.
- 5 KNOW YOUR RESEARCH INTEGRITY OFFICER**
Be prepared in case you ever suspect research misconduct.

Find out more:
ori.hhs.gov @HHS_ORI #ORledu

研究指導者が研究公正推進のためにできる5つのこと

- ① 相談しやすくあれ**
 - 研究の進捗や直面している問題について率直に話せるような環境を
- ② 生データをチェックせよ**
 - 研究室から発表される生データをつねにチェックすることで、ミスや不正を防ぐことができる
- ③ なにを期待しているかを明確に伝えよ**
 - 実験における各自の役割や責任、全体のスケジュールなどを明確に
- ④ 教育の機会と指導を与えよ**
 - これくらい知ってるだろう、できるだろうという思い込みを避け、実験の様子を定期的にチェックせよ
- ⑤ 研究公正担当者を知る**
 - 研究不正が疑われるときにどこに相談すればいいかを確認・共有せよ

出典 <https://ori.hhs.gov/blog/new-infographic-5-ways-supervisors-can-promote-research-integrity> 3



ガイドライン
研究倫理教材



身近な事例にもとづいた
研究現場でのディスカッション